



教育旅行の民泊受入に興味のある方、受入経験者のための
教育旅行受入の先進地 徳島県「そのの郷」から
受入家庭を招いて経験談を聴く

農泊スキルアップ セミナー

2025
11/24
月 振替休日
14:00~16:30

経験を聴き、一緒に話すことでスキルアップに繋げよう!

セミナー の内容

- ☒ そのの郷 事務局講演
- ☒ そのの郷 受入家庭講演
- ☒ 倉吉市体験型教育旅行誘致協議会活動報告
- ☒ 参加者全員で民泊体験の受入についてグループMT

※講師・内容は予告なく変更となる場合がございます。

時 間 14:00-16:30

場 所 倉吉市役所関金庁舎2階
住所：倉吉市関金町大鳥居193-1

参加対象 教育旅行の民泊受入に関心を持つ個人、団体、行政関係者等

参加費 参加無料

定 員 100人

講 師 一般社団法人 そのの郷

【そのの郷山里物語協議会】

徳島県三好市・美馬市・東みよし町・
つるぎ町の2市2町で教育旅行の体験
受入を積極的に実施されている。

※詳細は裏面に記載

お問い合わせ・お申し込み

WEBフォームまたはお電話にてお申し込みください。

倉吉市体験型教育旅行誘致協議会事務局

☎ 0858-45-1122

申込締切：11/20(木)

GoogleFormsによる申し込みはこちら↑



教育旅行の民泊体験受入のための 農泊スキルアップセミナー

講師の紹介

同じ立場だからこそ共感できる体験談！

教育旅行「観光地域づくりマネージャー」 福永晃大氏

教育旅行「手配コーディネーター」 武田由佳梨氏



そらの郷山里物語

にし阿波地域でしかできない学び、体験を提供するプランとして「そらの郷山里物語」は生まれました。SDGsの実践現場として、ESD(Education for Sustainable Development)推進拠点に登録されており、『PBL(課題解決型学習)×STEAMプログラム』の手法を活用し、本物の暮らしの中でプログラムを提供しています。事前学習、民泊、フィールドワーク・WS、パネルディスカッション、事後学習の流れを通じ、「正解の無い不確実性に挑戦する力」や「サステナブルマインド」を身につけるSDGsアクティブラーニングプログラムを提供する「そらの郷」の教育旅行の民泊受入の活動状況をお伺いします。

受入家庭 安藤洋子氏、安藤奈美氏



東みよし町の加茂山にある民宿あんちゃんち。農業体験ができる宿として、にし阿波で人気を集めています。宿を営むのは農家の安藤洋子さん。夏にはトマトやメロンなどをハウスで栽培。冬になると、干し芋の加工作業に追われます。秋に収穫したサツマイモを専用の倉庫で年を越す1月まで寝かせ、芋の糖度が上がるのを待ちます。じっくりと時間をかけて芋を炊くことで、甘くまろやかな口当たりの干し芋が出来上がります。安藤さんは、地域の伝統行事も大切にされていて、家の裏にあるお堂で年に2回行われる「数珠くり」という行事を続けています。明るい笑顔で、昔ながらの味を伝えながら、過疎化の進む集落の文化も守っています。セミナーでは安藤さんの教育旅行の民泊受入体験談をお伺いします。

受入家庭 栃谷京子氏、橘 美穂氏



かつて藍の栽培が盛だったつるぎ町 家賀地区で、「食べられる藍」を作りたいと藍の栽培をスタートした家賀再生プロジェクト 代表の栃谷京子さん。家賀の藍は、昔ながらの農法で栽培されています。蓼藍（たदैい）の畑には刈り取った茅や、落ち葉が敷き詰められています。化学肥料も農薬も使いません。「食べられる藍」は、そうめんに練りこんだ『藍入り半田手延べそうめん』も人気で、その他に団子やホットケーキ、ドレッシングやお味噌に混ぜるとなど色々な使い方があるそうです。藍には抗酸化作用があり、糖尿病やダイエットにも効果があると言われています。セミナーでは栃谷さんの教育旅行の民泊受入体験談をお伺いします。

(民泊体験 基本の流れ)

倉吉市体験型教育旅行誘致協議会



対面式



家業体験



家庭の風呂または温泉で入浴



夕食



団らん



お別れ式



朝食



起床



就寝

募集中!

農家民泊受入家庭

まずは、電話またはメールにて
お気軽にご相談ください。

TEL : 0858-45-1122

E-mail : taiken@sekigane.com